



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期 財務・業績の概況 (連結)

平成 17 年 1 月 31 日

上場会社名 塩野義製薬株式会社

(コード番号:4507 東・大・名(各一部)・福・札)

(URL <http://www.shionogi.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 塩野元三 TEL (06)6202-2161  
責任者役職・氏名 広報室長 岸田哲行

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
たな卸資産の評価等で一部簡便な方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
連結(新規)1社(油日アグリサーチ株)

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	151,812	△ 2.9	22,697	—	22,056	—	15,192	—
16年3月期第3四半期	156,357	—	—	—	—	—	—	—
(参考)16年3月期	200,485		20,292		17,586		2,203	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	43 . 93	—
16年3月期第3四半期	—	—
(参考)16年3月期	6 . 06	—

(注) 売上高以外の四半期経営成績の開示は当期から行っているため、前年同四半期については記載しておりません。  
また、売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の業績(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)は、売上高 1,518 億 1 千 2 百万円(前年同期比 2.9% 減)、営業利益 226 億 9 千 7 百万円、経常利益 220 億 5 千 6 百万円、四半期純利益 151 億 9 千 2 百万円となりました。

医療用医薬品の販売におきましては、薬価改定による影響のほか、主力の抗生物質におきまして引き続き市場の縮小により、売上が減少となりました。このため、工業所有権等使用料収入の増加はありましたが、全体としての売上高は減少となりました。

一方、利益面では、売上高の減はありましたが、事業構造改革等の取り組み効果により、引き続き原価率、販管費率ともに改善され、売上高営業利益率、売上高経常利益率は 14% 台で推移しております。四半期純利益につきましては、今期首における確定拠出年金移行益 35 億 6 千 3 百万円を含んでおります。

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	389,069	303,058	77.9	876 . 54
16年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)16年3月期	376,160	292,187	77.7	844 . 53

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	16,074	△ 3,677	△ 4,217	76,963
16年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)16年3月期	15,059	△ 8,044	△ 10,340	68,623

(注) 当期より四半期財政状態の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

## [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における財政状態としましては、前連結会計年度末と比べて総資産が129億9百万円増加しておりますが、主として当社において前払年金費用が増加したことによるものであります。一方、株主資本が前連結会計年度と比べて108億7千1百万円増加し、株主資本比率は77.9%となりました。

当第3四半期末の現金及び現金同等物は769億6千3百万円となり、前連結会計年度より83億4千万円増加しております。営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が253億9千2百万円となりましたが、確定拠出年金への移行に伴う支払があり、全体としては160億7千4百万円のプラスとなりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等があり、36億7千7百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、借入金の返済があり、42億1千7百万円のマイナスとなりました。

## (参考)四半期個別経営成績等の概況 (平成16年4月1日～平成16年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期第3四半期	137,528 △ 4.2	19,332 —	19,909 —	13,959 —
16年3月期第3四半期	143,604 —	— —	— —	— —
(参考)16年3月期	183,274	16,168	15,458	1,335

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	379,317	296,230
16年3月期第3四半期	—	—
(参考)16年3月期	366,113	286,468

(注) 売上高以外の四半期個別経営成績等の開示は当期から行っているため、前年同四半期については記載しておりません。また、売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[参考]

平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	200,000	27,000	18,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 52円 05銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点におきましては、平成16年11月1日発表の通期業績予想を変更しておりません。

平成17年3月期の個別業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通 期	182,000	25,000	17,000	4.25	8.50

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 49円 16銭

上記予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

# 1. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		(参考)	
	当四半期 (平成 17 年3月期第 3 四半期)		平成 16 年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
I 売 上 高	151,812	100.0	200,485	100.0
II 売 上 原 価	57,171	37.7	79,856	39.8
売 上 総 利 益	94,640	62.3	120,629	60.2
III 販売費及び一般管理費	71,943	47.4	100,337	50.1
(うち研究開発費)	( 23,263)	( 15.3)	( 29,807)	( 14.9)
営 業 利 益	22,697	14.9	20,292	10.1
IV 営 業 外 収 益	1,959	1.3	2,416	1.2
V 営 業 外 費 用	2,600	1.7	5,121	2.5
経 常 利 益	22,056	14.5	17,586	8.8
VI 特 別 利 益	3,835	2.5	16	0.0
VII 特 別 損 失	499	0.3	12,424	6.2
税金等調整前四半期(当期)純利益	25,392	16.7	5,178	2.6
法人税、住民税及び事業税	5,814	3.8	2,101	1.1
法 人 税 等 調 整 額	4,367	2.9	844	0.4
少数株主利益(△)	△ 16	△ 0.0	△ 28	△ 0.0
四半期(当期)純利益	15,192	10.0	2,203	1.1

## 2. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年3月期第3四半期末)		(参考) 平成16年3月期		増減金額 (△金額は減)
	金 額	構成比	金 額	構成比	
(資産の部)		%		%	
I 流動資産					
1. 現金及び預金	81,401		75,044		6,357
2. 受取手形及び売掛金	77,202		71,459		5,743
3. 有価証券	22,069		23,059		△ 990
4. たな卸資産	30,583		33,549		△ 2,966
5. その他	7,494		11,101		△ 3,607
貸倒引当金	△ 63		△ 64		1
流動資産合計	218,687	56.2	214,150	56.9	4,537
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	32,560		33,035		△ 475
(2) その他	36,833		38,957		△ 2,124
有形固定資産合計	69,394	17.9	71,993	19.1	△ 2,599
2. 無形固定資産	4,766	1.2	5,187	1.4	△ 421
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	80,096		80,787		△ 691
(2) 前払年金費用	12,435		—		12,435
(3) その他	3,917		4,209		△ 292
貸倒引当金	△ 229		△ 166		△ 63
投資その他の資産合計	96,220	24.7	84,829	22.6	11,391
固定資産合計	170,381	43.8	162,010	43.1	8,371
資産合計	389,069	100.0	376,160	100.0	12,909

(単位：百万円)

科 目	期 別	当四半期 (平成17年3月期第3四半期末)		(参考) 平成16年3月期		増減金額 (△金額は減)
		金 額	構成比	金 額	構成比	
(負債の部)						
I.流動負債						
1.支払手形及び買掛金		10,123		10,346		△ 223
2.短期借入金		114		1,033		△ 919
3.1年以内償還予定社債		20,000		—		20,000
4.未払金		8,964		6,414		2,550
5.引当金						
(1)賞与引当金		3,031		6,343		△ 3,312
(2)その他の引当金		919		710		209
6.その他		15,281		9,920		5,361
流動負債合計		58,434	15.0	34,768	9.2	23,666
II固定負債						
1.社債		—		20,000		△ 20,000
2.引当金						
(1)退職給付引当金		8,438		18,829		△ 10,391
(2)その他の引当金		254		462		△ 208
3.長期未払金		6,488		—		6,488
4.その他		12,179		9,713		2,466
固定負債合計		27,360	7.0	49,005	13.0	△ 21,645
負債合計		85,795	22.0	83,773	22.2	2,022
(少数株主持分)						
少数株主持分		216	0.1	199	0.1	17
(資本の部)						
I 資本金		21,279	5.5	21,279	5.7	0
II 資本剰余金		20,227	5.2	20,227	5.4	0
III 利益剰余金		244,736	62.9	232,589	61.8	12,147
IV その他有価証券評価差額金		19,482	5.0	21,023	5.6	△ 1,541
V 為替換算調整勘定		△ 1,141	△ 0.3	△ 1,588	△ 0.4	447
VI 自己株式		△ 1,525	△ 0.4	△ 1,343	△ 0.4	△ 182
資本合計		303,058	77.9	292,187	77.7	10,871
負債、少数株主持分及び資本合計		389,069	100.0	376,160	100.0	12,909

### 3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当四半期 (平成 17 年3月期第 3 四半期)	(参考) 平成 16 年3月期
		金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		25,392	5,178
減価償却費		6,859	9,623
売上債権の増減額(増加:△)	△	5,690	4,705
たな卸資産の増減額(増加:△)		3,024	7,285
仕入債務の増減額(減少:△)		762	△ 1,631
その他	△	12,855	△ 6,606
小 計		17,491	18,555
利息及び配当金の受取額		991	1,490
利息の支払額	△	416	△ 464
法人税等の支払額	△	1,991	△ 4,521
営業活動によるキャッシュ・フロー		16,074	15,059
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券・投資有価証券の取得による支出	△	2,149	△ 4,586
有価証券・投資有価証券の売却等による収入		1,284	2,227
有形固定資産の取得による支出	△	4,711	△ 4,404
有形固定資産の売却による収入		516	157
その他		1,381	△ 1,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	3,677	△ 8,044
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	△	186	△ 7,086
長期借入金の返済による支出	△	918	△ 120
配当金の支払額	△	2,934	△ 2,936
その他	△	179	△ 196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	4,217	△ 10,340
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		151	456
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)		8,330	△ 2,868
VI 現金及び現金同等物の期首残高		68,623	71,496
VII 連結除外による現金及び現金同等物の減少額	—	—	△ 50
VIII 合併による現金及び現金同等物の増加額	—	—	45
IX 新規連結による現金及び現金同等物の増加額		9	—
X 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		76,963	68,623

## 4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期(平成17年3月期第3四半期)

(単位：百万円)

科 目 \ セグメント	医薬品及びその関連する事業	カプセル事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	140,084	8,893	2,834	151,812	—	151,812
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	181	3,360	3,541	(3,541)	—
計	140,084	9,074	6,194	155,353	(3,541)	151,812
営業費用	119,676	7,807	5,188	132,672	(3,558)	129,114
営業利益	20,407	1,267	1,006	22,680	17	22,697

(注)

1. 事業区分については、製商品及び役務の種類、販売市場の類似性を考慮し、医薬品及びその関連する事業、カプセル事業及びその他の事業にセグメンテーションしております。
2. 各事業区分に属する主要な製商品及び役務

事業区分	主要な製商品及び役務
医薬品及びその関連する事業	医薬品、診断薬
カプセル事業	カプセルなど
その他の事業	不動産賃貸、物流等のサービス業務 他



平成17年3月期 第3四半期業績 補足資料

平成17年1月31日  
塩野義製薬株式会社

セグメント別売上高

< 連結 >

(単位億円)

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	16年10-12月 実績	15年10-12月 実績	16年4-12月 実績	15年4-12月 実績	対前年 増減率	対予定 進捗率
医薬品及びその関連する事業	871	978	1,849	530	543	1,401	1,447	3.2	75.8
医療用医薬品	799	890	1,689	485	510	1,285	1,356	5.3	76.1
一般用医薬品	31	35	66	20	19	50	55	7.4	76.5
診断薬	18	17	35	8	9	27	29	7.3	76.1
工業所有権等使用料収入	23	36	59	16	5	39	8	405.7	66.3
カプセル事業	59	56	115	30	26	89	85	4.2	77.3
その他の事業	23	13	36	5	7	28	31	9.6	78.7
工業薬品	0	0	0	0	0	0	10	-	-
不動産賃貸、その他	23	13	36	5	7	28	22	30.6	78.7
合計	953	1,047	2,000	565	576	1,518	1,563	2.9	75.9

< 単体 >

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	16年10-12月 実績	15年10-12月 実績	16年4-12月 実績	15年4-12月 実績	対前年 増減率	対予定 進捗率
医薬品及びその関連する事業	854	966	1,820	521	536	1,375	1,426	3.6	75.6
医療用医薬品	782	878	1,660	477	503	1,259	1,335	5.7	75.8
一般用医薬品	31	35	66	20	19	50	55	7.4	76.5
診断薬	18	17	35	8	9	27	29	7.3	76.1
工業所有権等使用料収入	23	36	59	16	5	39	8	400.5	66.3
工業薬品	0	0	0	0	0	0	10	-	-
合計	854	966	1,820	521	536	1,375	1,436	4.2	75.6

主要製品売上高 (単体)

医療用医薬品

(単位億円)

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	16年10-12月 実績	15年10-12月 実績	16年4-12月 実績	15年4-12月 実績	対前年 増減率	対予定 進捗率
医療用医薬品 計	782	878	1,660	477	503	1,259	1,335	5.7	75.8
フロモックス	143	200	343	109	114	251	264	4.9	73.2
フルマリン	90	85	175	47	56	137	156	11.9	78.3
塩酸バンコマイシン	84	80	164	44	53	127	148	14.1	77.7
イムネース	54	57	111	29	27	83	73	12.8	74.7
リンデロン等外用	55	49	104	26	26	81	80	1.0	77.7
MSコンチン	32	31	63	15	23	47	63	25.7	74.9
クラリチン	24	50	74	22	14	47	35	32.1	62.9
ロンゲス	26	25	51	14	16	40	45	12.1	77.5
ケフラル	21	23	44	12	15	33	40	17.1	74.5
ドブトレックス	16	19	35	10	11	26	31	16.0	73.7
オキシコンチン	12	18	30	10	4	22	6	272.5	73.1

一般用医薬品

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	16年10-12月 実績	15年10-12月 実績	16年4-12月 実績	15年4-12月 実績	対前年 増減率	対予定 進捗率
一般用医薬品 計	31	35	66	20	19	50	55	7.4	76.5
セデス類	13	16	29	8	8	21	24	11.2	73.1
ポボンS	5	7	12	5	4	10	12	13.5	83.0

工業所有権等使用料収入

	16年上期 実績	16年下期 予定	16年度 予定	16年10-12月 実績	15年10-12月 実績	16年4-12月 実績	15年4-12月 実績	対前年 増減率	対予定 進捗率
工業所有権等使用料収入 計	23	36	59	16	5	39	8	400.5	66.3
クレストール	18	29	47	14	4	31	5	553.2	66.6

開 発 品

(2005年1月31日現在)

<国内開発品>

ステージ	開発	起源・開発方法・一般名・申請	薬 効・プロフィール
申請中	NS75A	導入 ゼンタリス社(独) Zentaris AG 共同開発 日本化薬 一般名:酢酸セトロレリクス, Cetrorelix 2000年12月申請	体外受精/胚移植施行時における早発排卵防止薬 LHRH(下垂体性腺刺激ホルモン分泌ホルモン)拮抗薬(注射). 海外データおよびブリッジング試験を利用して申請. 欧米では承認済.
	SR47436	導入 サノフィ・サンテラボ社(仏) Sanofi Synthelabo 共同開発 プリストル製薬 一般名:イルベサルタン, Irbesartan 2002年10月申請	降圧薬 アンジオテンシン 受容体拮抗薬(経口). 糖尿病性腎症適応承認(欧米). 心不全第 相 実施中(欧米). プロドラッグでなく活性体. ACE阻害薬で問題となっている空咳が抑えられ, 薬物相互作用の少なさが期待される.
	S-4661	自社 一般名:ドリペネム, Doripenem 2003年9月申請	抗菌薬 カルバペネム系抗生物質(静注). 抗菌スペクトラムが広い(グラム陰性・陽性, 緑膿菌). 腎毒性が低く, 中枢作用(痙攣)が他剤と比べて少ない.
	S-8116	導入 ムンディファーマ社(オランダ) Mundipharma AG 一般名:塩酸オキシコドン, Oxycodone 2004年5月申請	癌疼痛治療薬 塩酸オキシコドン速放製剤(経口). 徐放性製剤については2003年4月16日承認取得.
	SCH29851	導入 シェリング・プラウ社(米) Schering-Plough 共同開発 シェリング・プラウKK 一般名:ロラタジン, Loratadine 2004年9月申請(シェリング・プラウKK) (小児効能拡大・剤形追加)	アレルギー性疾患治療薬 ヒスタミンH1受容体拮抗薬. 小児のアレルギー性鼻炎及び皮膚疾患に伴うそう痒への適応拡大(経口). 慢性蕁麻疹, アレルギー性鼻炎, 皮膚疾患に伴うそう痒の治療薬として既に市販.
フェーズ	LY248686	導入 イーライリリー社(米) Eli Lilly and Company 一般名:塩酸デュロキセチン, Duloxetine 2001年11月申請 2007~2008年に再申請予定	抗うつ薬 SNRI(セロトニン・ノルエピネフリン再取り込み)阻害薬(経口). 外国の用法・用量を考慮して, 本薬の最大限の有効性を確認するために高用量で追加試験を実施.
	S-7701	導入 マルナック社(米) Marnac, Inc. 一般名:ピルフェニドン, Pirfenidone 2002年12月申請 2006年に再申請予定	特発性間質性肺炎治療薬 抗線維化剤(経口). オーファン指定. 他の線維化疾患へ拡大できれば大きな市場も期待.
フェーズ	NS75A	導入 ゼンタリス社(独) Zentaris AG 共同開発 日本化薬 一般名:酢酸セトロレリクス, Cetrorelix	子宮筋腫治療薬 LHRH(下垂体性腺刺激ホルモン分泌ホルモン)拮抗薬(注射)週1回製剤. 前期第 相 終了.
フェーズ	EP-013420 S-013420(S番付番)	導入 エナンタ社(米) Enanta Pharmaceuticals, Inc.	抗菌薬 ケトライド系抗生物質(経口).
フェーズ 準備中	S-0373	自社	脊髄小脳変性症改善薬, パーキンソン病治療薬 非ペプチド型TRHミメティック(経口). 脳内移行が良く薬効持続時間が長い. 国内, 海外での開発予定.
	NS75B	導入 ゼンタリス社(独) Zentaris AG 共同開発 日本化薬	前立腺肥大症治療薬 LHRH(下垂体性腺刺激ホルモン分泌ホルモン)拮抗薬(注射). 4~12週毎に投与するデポ剤.

<海外開発品>

ステージ	開発	起源・開発方法・一般名・申請	薬効・プロフィール
フェーズ	S-5751	自社 日本:フェーズ , 米国:フェーズ	アレルギー性疾患治療薬 プロスタグランジンD2受容体拮抗薬, 世界初. 喘息治療薬としてIND実施.
フェーズ	S-2367	自社 英国, 米国:フェーズ	抗肥満薬 中枢作動薬(経口). 内臓脂肪の蓄積抑制, 血糖値, 血清脂質の改善. 安全性が高く, リバウンドのないことが期待される. 肥満者を対象とした反復投与開始.

<シオノギ - GSK>

ステージ	開発	開発方法・ステージ	薬効・プロフィール
フェーズ	S-0139	シオノギ - GSK 日本:フェーズ a, 欧州:フェーズ	脳血管障害治療薬 急性期脳梗塞の適応は世界初. エンドセリンA受容体拮抗薬(注射).

<導出品>

開発No.・導出先	導出年月・ステージ	薬効・プロフィール
S-4522 英国アストラゼネカ社へ導出 AstraZeneca, UK	1998年4月導出 一般名:ロスタスタチン, Rosuvastatin 2005年1月19日付で承認取得(日本) 世界70カ国で承認取得済	高脂血症治療薬 HMG CoA 還元酵素阻害薬(経口). ゼネカ開発No. ZD-4522
S-1153 米国ファイザー社へ導出 Pfizer, USA	1998年6月導出 フェーズ 実施中及びフェーズ 準備中 一般名:カブラピリン, Capravirine	抗エイズ薬 非核酸型逆転写酵素阻害薬(経口)
S-4661 米国ペニンシュラ社へ導出 Peninsula, USA	2003年5月導出 フェーズ 実施中 一般名:ドリベネム, Doripenem	抗菌薬 カルバペネム系抗生物質(静注)

<導入品>

開発No.・導入元	導入年月・ステージ	薬効・プロフィール
BAY12-8039 バイエル薬品より導入 Bayer Yakuhin, Japan	2003年10月導入 一般名:モキシフロキサシン, Moxifloxacin 2002年9月申請(日本バイエル薬品)	抗菌薬 ニューキノロン系抗菌薬(経口). 初のレスピラトリキノロン.

<中止>

S-6820	抗癌薬, 遺伝子組換え型インターロイキン-2製剤(一般名:テセロイキン, 商品名:イムネース). 大腸癌肝転移への適応拡大を中止. 腫瘍縮小率では有意に優ったが, 延命率で明らかな差がなかったため.
S-3304	抗悪性腫瘍薬. 既存治療に対する差別化が困難と判断したため.
S-8921	高脂血症治療薬. 既存品との差別化が困難と判断したため.
S-3013	抗炎症薬. 他疾患への展開を基礎的に検討していたが, 早期に展開できる効能が存在しないため中止.
S-8510	抗痴呆薬. 動態プロファイルのより好ましいback-up化合物の開発に傾注することとしたため.

2004年11月発表時からの変更点

中止	S-6820, S-3304, S-8921, S-3013, S-8510
開発段階 変更	S-4522: 申請中(日本) 2005年1月19日付で承認, 承認国数変更(64 → 70)
	EP-013420: S-013420としてS番を付番し, フェーズ 開始
その他の 記載変更	S-1153: フェーズ 実施中 フェーズ 実施中及びフェーズ 準備中
	S-5751: 喘息治療薬としてIND実施